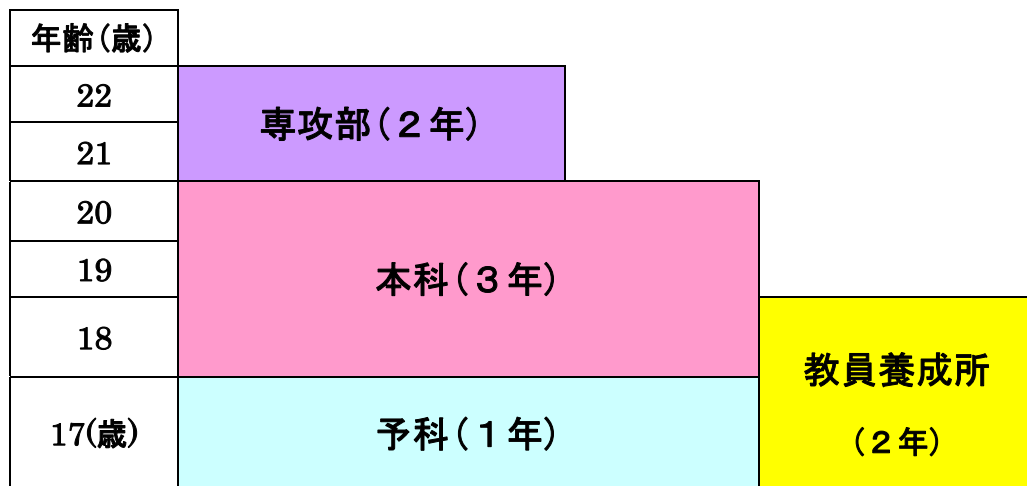
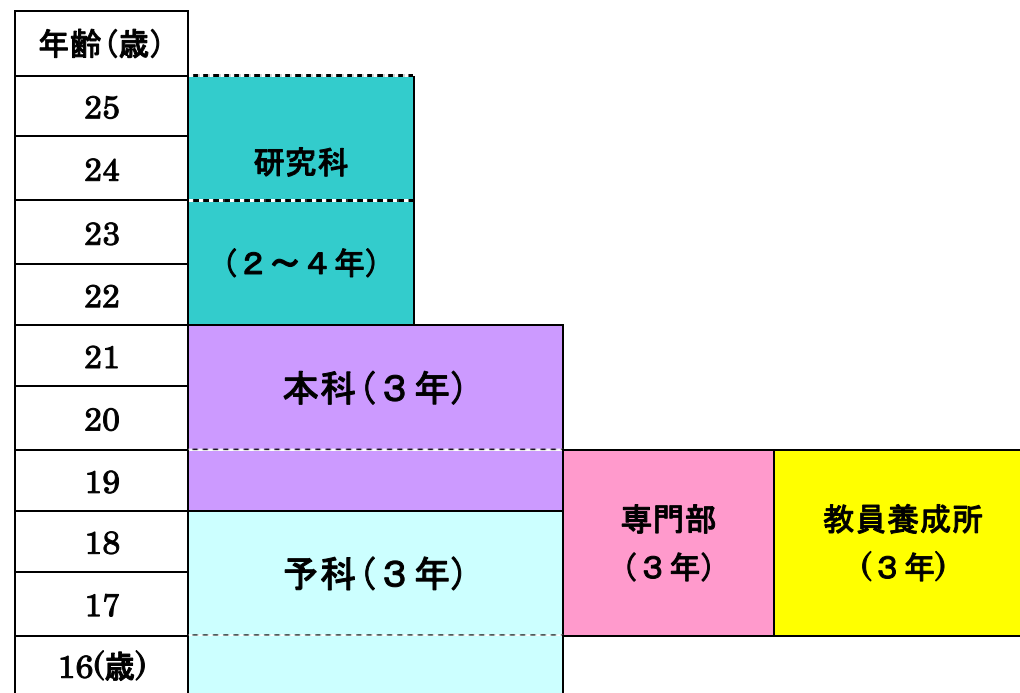


東京高等商業学校 (1902-1920)



※教員養成所は 1911-1920 年の間
修業年限 4 年となる

東京商科大学 (1920-1949)



東京商科大学の機構図

東京高等商業学校は、1920(大正 9)年に東京商科大学に昇格した。昇格前後の組織を示すと、図のようになる。

東京高等商業学校は予科、本科、専攻部(1897 年設立)、附属商業教員養成所(1899 年設立)の 4 部科から成っていた。

昇格後、専攻部が東京商科大学の本科となり、その下には予科が置かれた(修業年限はそれぞれ 3 年)。

学術的研究を主眼とする大学本科に対し、高商時代の実践的な職業教育を引き継ぐものとして「附属商学専門部」が置かれた。附属商業教員養成所も、修業年限を 3 年に改めて存続した。

東京商科大学本科には、予科のほか専門部、教員養成所、地方の高等商業学校からも進学が可能であり、学生の年齢や学歴には幅があった。

参考文献：一橋大学学制史専門委員会編『一橋大学学制史資料』第 6 巻、一橋大学学園史編纂委員会、1982 年、12 頁の図をもとに作成